

# 地域貢献計画書

平成22年5月12日

東京都品川区大崎1丁目11番2号

株式会社ローソン

代表取締役社長CEO 新浪 剛史

(連絡先: 関東ローソン支社 関東FCサポート

鈴木 誠人 03-6420-5129)

- (1) 地域との連携促進、各種事業への協力・参加に関すること
  - ・ 商店会、自治体、商工会、商工会議所など地域団体との連携推進。
  - ・ 従業員の地域行事、学校行事等への参加、協力、連携強化。
- (2) 県産品の販売促進に関すること
  - ・ 県外に設置する「千葉県アンテナショップ」における県産品の販売及び観光情報の提供
  - ・ 千葉県で親しまれている食材や味を使用したお弁当・おにぎり・調理パン・惣菜を開発及び販売。
  - ・ 上記商品等を千葉県フェアとして関東エリアにて販売予定。
  - ・ お中元・お歳暮ギフト商品として農林水産物・菓子・地酒等の販売。カタログに掲載し全国に向けて「千葉県優良県産品」の認知度を向上。
  - ・ 弊社店舗設置のマルチメディア端末Loppi(ロッピー)及び弊社携帯サイトネットショッピングを使用した「千葉県優良県産品(工芸品等)」の販売。
- (3) 健康増進・食育に関すること
  - ・ 原材料に対するこだわり、栄養バランスを考慮したメニューづくり、不足しがちな野菜を補えるメニューづくり等健康に着目したメニュー開発の推進。
- (4) 高齢者・障がい者支援に関すること
  - ・ 段差を無くした入口(一部自動ドア採用)、洋便器・手すりを設置したトイレ等の店内バリアフリー化の推進。
  - ・ 駐車場併設店舗の駐車場に車椅子利用者用駐車場の設置。
  - ・ 来店された高齢者へのお声掛け、買い物の補助。
- (5) 子ども・青少年育成に関すること
  - ・ 県内の小中高校生による職場体験 及び 就労体験学習の受入。
  - ・ セーフティステーション活動による、青少年環境健全化への取り組み。
- (6) 子育て支援に関すること
  - ・ セーフティステーション活動による子供の緊急時の駆け込みへの対応
- (7) 環境保全に関すること
  - ・ カーボンオフセットの啓発への協力。

- ・レジ袋削減、キャンペーンの実施。
- ・店舗使用電力の削減。
  - 「自動調光照明システム」を採用、約 30%の消費電力を削減。
  - 看板には反射板を設置して光を増幅し、蛍光灯の数を半減。
  - 2004 年 8 月の新店より「省エネパック（要冷空調一体型システム）」を導入。
  - 1 店舗当たりの電気使用量を約 1 割削減することが可能。
  - 既存店については、冷凍機および空調機、防露ヒーターに、室外機のカス圧を監視し、自動制御を行う「エコパック(省エネ制御システム)」の導入。
- ・各自治体のごみ収集基準が細分化されていることに合わせ、新型クリーンボックス設置。
- ・電気自動車（EV）の導入。
- ・新規出店店舗のLED照明の導入。

( 8 ) 地域・暮らしの安全・安心に関すること

- ・セーフティステーション活動によるまちの安全、安心な生活の拠点づくりと防犯・防災体制の強化。

( 9 ) 災害対策に関すること

- ・ライフラインの一部として、被災地における店舗の営業継続、生活必需物資の供給。
- ・災害時の帰宅困難者ヘトイレの貸し出しや水道水の提供などの提供。

( 1 0 ) 観光情報・振興に関すること

- ・各店舗における観光ポスターの掲示、観光パンフレットの設置、近隣観光施設や交通機関の案内
- ・弊社店舗設置のマルチメディア端末 L o p p i ( ロッピー ) を使用し、千葉県内観光施設の割引入場券販売。

( 1 1 ) NPO・ボランティア活動の支援に関すること

- ・緑の募金を通じた千葉県内での植樹の実施。
- ・当社ポイントカードを通じたNPO団体への寄付の実施

( 1 2 ) 「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」に関すること

- ・「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」の広報活動等に対する支援・協力

( 1 3 ) その他、地域社会の活性化・住民サービスの向上に関すること

- ・地域の活性化・住民サービスの向上に関する千葉県の広報活動に対する支援・協力